

第15回試験対応 1級論述試験対策 10点アップ講座

新しい出題形式に
対し本試験での考
え方を提示します

新しい出題形式に対して、「問題」をどう捉え、どのように「答案構成」して、どのように「解答」を記述すれば合格ラインを越えられるかを体験

東京	2025年12月6日(土)	9:30~16:30	会場：全労連会館 御茶ノ水駅 徒歩7分	受講料(税込)	会員価格	20,000円
大阪	2025年11月29日(土)	9:30~16:30	会場：神戸大学 大阪凌霜クラブ 梅田・大阪駅 徒歩5分		一般価格	25,000円

論述試験の得点を前回より10点アップを目指します。

講座では、まず、論述試験は「**実技試験**」であることから、ケースをどのように読み取り、「問題(設問)」にどうアプローチすれば解答を導くことができるかを考えます。

そのうえで、最新の論述試験の考え方の基本である「答案構成」を行い、解答の要素をどのような順番で、どう表現すると試験官から高得点を得られるかを伝えします。

講座の中では、「論述試験」の解答における基本的考え方を示したうえで、当会が出題を予想する**設問の内容にどのようにアプローチし、解答用紙に、何を、どのような順番で、どのように書いていくか**をお伝えし、実際に解答を作成していただきます。

また、講座では、当会の専任講師が「問題」として出題を予想するいくつかの設問を用意し、その問題が出題された場合の解答へのアプローチ法、解答の指針や解答の要素、解答例などを提示します。この対策をとることで、本試験の会場で、どのような問題が出題されても、安心して、落ち着いて解答に向かうことができるようになります。

■「論述試験」の解答の書き方のよくある質問

論述試験の解答で「体言止め」を用いることはどうでしょうか。文末表現は、「～と思われる」や「・・と推測される」と決めつけない表現の方がよいでしょうか。

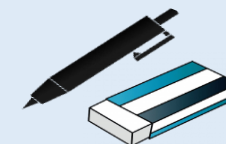
解答の中に書くべき要素が漏れないようにするには、どうすれば良いですか。

■**答案構成のやり方(当会の講座の特長です)**を詳しくお伝えします。その場で合格答案を書きあげます。

論述試験で合否を分けるのは、「答案構成」です。講座では、1級論述試験の答案構成のやり方を明示します。

講座の中で、解答を作成していただき、何を記述すべきかを確認して、合格答案にするための書き方を講師から具体的にアドバイスします。

解決



*12月12日(金)20時より本番直前1級オンライン論述一夜漬け対策を開催します。

※ 解答として、書くべき要素の理解と書き方(表現の仕方)から加点されるポイントを学びます。